



磐二小だより

磐梯町立磐梯第二小学校
令和6年1月16日
第23号
発行責任者 近野 典男

☆教育目標「自己を拓き、共に生きる、健康で品性の高い子ども」

○自分から学びます ○共に磨きます ○互いに鍛えます

【スローガン】キラキラとひとみが輝く二小の子ども

明けましておめでとうございます

保護者、地域の皆様におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

冬休み中、大きな事故やケガ等もなく、第3学期を全員元気にスタートすることができ、嬉しく思いました。ただし、新型コロナウイルスやインフルエンザ等の心配が続いておりますので、今学期も学校全体で予防に対する緊張感を継続させていきたいと考えております。

さて、第3学期は51日間で、1年で最も短い学期ですが、学習・生活等、学年のまとめをしながら、

進級・進学に向けた心構えをもつ大切な学期となります。子どもたちには始業式で、「夢や目標をもつだけでなく、それに向かって努力することが大切」ということを伝えました。

子どもたちのひとみがこれまで以上にキラキラと輝くよう、教職員一同尽力していきたく思います。今年もどうぞよろしく願いいたします。



大谷選手からのグローブが届きました



大谷選手が全国の小学校に寄贈してくださったグローブが二小にも届き、12日(金)に紹介する機会をつくりました。

各地で既に届いたとの報道があったので、子どもたちもとても興味深く思っていたようです。この日は、なわとびタイムの後に大谷選手のメッセージとともにグローブを紹介した後、野球やソフトボールのチームに所属している4人の児童が代表でキャッチボールをして使い初めました。

大切に作るからといって校務センターにしまっておいては大谷選手の思いに反してしまいますので、どんどん使って楽しめるようにしていきます。

支援員古川先生ごあいさつ

令和6年1月より、支援員としてお勤めいただくこととなりました古川先生をご紹介します。

磐梯町のふれあいセンタープールやこども館・保育所でお勤めされていた経験をおもちです（子どもたちも何人かはお会いしたことがあったようです）。温厚なお人柄で、これから二小の子どもたちを温かく支えてくださるに違いありません。どうぞよろしく願いいたします。

〈古川先生からのごあいさつです〉

3学期より支援員として勤務することになりました。
ふれあいセンターでは皆様に大変お世話になりました。

子どもたちが楽しく安心して学校生活を送れるようサポートしてまいりますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



だんごさし

11日（木）に、1・2年生が「だんごさし」を行いました。

身支度を整えて家庭科室に集まり、まずは、粉に水を入れながらこね、赤、青、黄、緑の4色の団子を完成させました。そして、願いを込めながらミズキにさしました。



地域に受け継がれてきた季節の行事を行うことで、昔の人の思いや願いを想像し、またこれからも大切にしていこうという気持ちが育まれていくものです。

色とりどりの団子できれいに飾ることができ、子どもたちはとても嬉しそうでした。

なお、ミズキの木は上西連の田部様にご提供いただきました。心より感謝申し上げます。

3学期のめあて

子どもからの動き出し「～たい」を大切にしている二小において、なりたい自分の姿を思いえがく過程は特に力を入れていきたいと考えています。そのために、第3学期が始まり、どの学年でも時間をとって各自のめあてを立てました。そして、15日（月）の全校集会は、各学年代表によるめあての発表を行いました。

学年の代表になると、どのお子さんもしっかり練習をしてきて素晴らしい内容・態度で発表できており、感心しています。この日も、「漢字を得意にしたいです。そのために、自主学習で～」のように、どんな努力をするかまで考えて発表できていることなど、6人それぞれに称賛したいことがたくさんありました。聞き手となった子どもたちも、自分のめあてと比べながら真剣な表情で聞くことができていました。



新しい年を迎えて、またみんなががんばろうという気持ちになる素晴らしい時間となりました。